

作業補足シート

7 : 0 8

分野	端末処理	作業名	Cat.6A モジュラジャックの成端
目的	Cat.6A シールド付きモジュラジャックの成端を行う。		
工程	ポイント	時間 (再生位置)	
1. ケーブル被覆をカット	<ul style="list-style-type: none">ケーブル外皮をカットする位置を軽くもんでおくと外皮と内側の心線が分離し、カットする際に心線に傷が入りにくくなる。ケーブルストリッパでケーブル外被を先端から約 40mm の位置に切れ込みを入れた後、カッターで縦に軽く（内部のアルミ遮蔽テープを傷つけないため）切れ込みを入れ外被を除去する。	0 : 2 2	
2. ポリエステルテープを外被根本で除去	<ul style="list-style-type: none">透明の押さえ巻きテープをニッパーで除去する。	1 : 0 0	
3. 遮蔽テープを折り返す	<ul style="list-style-type: none">遮蔽テープを被覆剥ぎ取り際で折り返す。	1 : 2 2	
4. 十字介在をカット	<ul style="list-style-type: none">心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。	1 : 5 3	
5. 整線キャップの挿入	<ul style="list-style-type: none">心線をまとめ整線キャップを突き当たるまで通す。整線キャップの結線ラベルと心線の色を意識して通すと後の作業がしやすくなる。	2 : 3 4	
6. ドレイン線を折り返す	<ul style="list-style-type: none">ポリエチレンテープ（半透明なテープ）を外被端で除去するとき、心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。余ったテープもニッパーでなるべく根元まできれいに除去しておく、後の作業がしやすくなる。ドレイン線を製線キャップの小さな溝に沿って折り返す。	3 : 0 9	
7. 結線ラベルに従い心線を溝にはめる	<ul style="list-style-type: none">結線ラベルの色に従って合わせて心線を溝にはめる。溝に入れた部分から先は除去するので、心線をまっすぐにする必要はない。溝にはまる程度に撚りを解くだけで、極力より戻しは短くする。（クロストークの原因となるため）	3 : 4 7	
8. 余分な心線をカット	<ul style="list-style-type: none">除去した心線が飛ばないように心線を抑えながら切る。整線キャップの端から心線がはみ出さないようにする。	4 : 3 6	
9. 整線キャップ	<ul style="list-style-type: none">ストレインリリーフを開け、ジャック本体のカバーを開け	4 : 5 8	

と本体を仮固定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整線キャップの溝を上にして、手を放しても落ちない程度に本体と勘合させる。 	
10. 整線キャップと本体を本留	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮留めしたプラグを成端工具に乗せ、テコの原理を利用して隙間なく嵌合する。 ・ この時はまだストレインリリーフは閉じていない。 	5 : 0 7
11. 本体カバーを閉じる	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャックのカバーを「カチッ」を音が鳴るまで押し込む。 	5 : 3 2
12. ストレインリリーフを閉じる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成端工具にジャックをセットし、ストレインリリーフを閉じてケーブルを固定する。 	5 : 5 2
13. 余分なド레인線とアルミテープを除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整線キャップからはみ出している余分なド레인線とアルミテープをニッパーで除去する。 	6 : 0 7
使用器具	ニッパー、ケーブルストリッパ（日本製線 NSWST-M）、成端工具（日本製線 NSTOOLB）	
使用材料	モジュラジャック（日本精線 NSJ6A）、Cat.6A F/UTP ケーブル	
最終更新日	2022/03/07	